

平成28年7月28日  
愛媛大学

## 平成28年度 社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座を開講

このたび、愛媛大学では、あらたな社会基盤の整備、既存社会基盤の維持管理・補修の計画・設計・実施技術を習得し、地域の活性化に貢献出来る人材としての社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）を育成することを目的とした講座を開講します。

この養成講座では、短期集中カリキュラムにおいて、管理者（行政）側と建設業関連技術者側それぞれの組織の技術者が、所定の科目を履修することで、共通の高度な知識を持つ総合技術者の育成を目指しています。

この講座は愛媛大学の履修証明プログラムの一つであり、講座終了後に一定の知識・技術を身につけたと判断された方には、「四国社会基盤メンテナンスエキスパート(四国 ME)」認定証及び履修証明書を発行します。

つきましては、関係各位へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

受付期間:平成 28 年 7 月 21 日(木)～平成 28 年 8 月 26 日(金)

実施期間:【前期】平成 28 年 9 月 26 日(月)～平成 28 年 9 月 30 日(金)

【中期】平成 28 年 10 月 6 日(木)・平成 28 年 10 月 14 日(金)

【後期】平成 28 年 10 月 17 日(月)～平成 28 年 10 月 21 日(金)

場 所:愛媛大学社会連携機構 2 階研修室 他

募集要項:別紙のとおり

※送付資料 9 枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学社会連携課

社会連携拠点チーム(塩出・水野・中田)

TEL:089-927-9021/FAX:089-927-8820

Mail:[kensien@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:kensien@stu.ehime-u.ac.jp)

28

28 7 21

28 8 26

28 9 26  
28 10 6  
28 10 17

28 9 30  
28 10 14  
28 10 21

28 7 21

社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座の目的と意義

(ME)

社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座の概要

ME

表-1 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座の時間割(予定)

	1時限目 (8:30~10:00)	2時限目 (10:20~11:50)	3時限目 (12:40~14:10)	4時限目 (14:30~16:00)	5時限目 (16:20~17:50)	(18:30~20:00)
9/26	養成講座の概要説明及び目的目標 (ガイダンス)	社会資本とアセット マネジメント概論	アセットマネジメント概論 (構造物全般)		グループ 事例研究	講義、事例研究の レポート作成
9/27	ライフサイクル コスト概論 (構造物全般)	ライフサイクル コスト 演習	道路法の改正と 道路保全	港湾・海岸施設の 維持管理	グループ 事例研究	講義、事例研究の レポート作成
9/28	劣化モデルと 評価手法	劣化モデルと 評価方法	舗装の設計と 維持管理	橋梁上部工の 設計、維持管理 (鋼橋)	グループ 事例研究	講義、事例研究の レポート作成
9/29	構造物の 基礎工・下部工の 設計	橋梁の 耐震補強	橋梁の 補修設計	コンクリート橋の 損傷と対策	橋梁上部工の 設計、維持管理 (床版)	講義、事例研究の レポート作成
9/30	リスクマネジメント 概論	橋梁上部工の 設計、維持管理 (コンクリート橋)	鋼橋の 損傷と対策	橋梁技術の 最前線	グループ 事例研究	講義、事例研究の レポート作成
10/6	橋梁の 点検手法	構造物の 維持管理	実習 橋梁の維持管理			講義、事例研究の レポート作成
10/14	トンネルの 設計	トンネルの 維持管理	実習 トンネルの維持管理			講義、事例研究の レポート作成
10/17	下水道の 維持管理	実習 下水道の 維持管理	斜面の 維持管理	斜面の 維持管理 演習		講義、事例研究の レポート作成
10/18	擁壁の設計と 維持管理	擁壁の設計と 維持管理 演習	実習 自然斜面、落石、切土、擁壁の維持管理			講義、事例研究の レポート作成
10/19	健全度評価手法 (地盤)	洪水被害の 概要と対策	ISO55000から学ぶア セットマネジメント システム	河川構造物の 維持管理	津波発生と被害 想定範囲予測と 対策	講義、事例研究の レポート作成
10/20	健全度評価手法 (土構造物)	補強土	四国・愛媛県の 地形と地質	地震発生による 被害と対策	地震対策のソフト 対策と避難 演習	講義、事例研究の レポート作成
10/21	土砂災害 地震災害の概要と 対策	土砂災害・地震災害の概要と対策 演習		成果発表 【愛媛大学】	今後の技術向上に 向けて(閉講式) 【愛媛大学】	講義、事例研究の レポート作成
eラーニング	橋梁工学		コンクリート構造物の損傷		鋼構造物の損傷	
	構造物の補修・補強		共通の損傷		橋の点検要領	
	コンクリート橋の点検		鋼橋の点検		構造物の詳細調査	

【内訳】講義：39コマ (58.5時間)

演習：7コマ (10.5時間)

実習：10コマ (15時間)

グループ事例研究：4コマ (6時間)

レポート作成：12コマ (18時間)

eラーニング：9コマ (13.5時間)

合計：81コマ (121.5時間)

※1コマ90分

1. 募集人数 30名

2. 受講費用等

---

27

23,000

500

3. 受講申請資格

申請者は、管理者（行政）側と建設業関連技術者側それぞれの組織の技術者とし、次の(1)～(3)のいずれかに該当する実務経験を有する者に限ります。

(1) 官公庁等土木技術者

3

1

(2) 建設業界技術者

3

(3) その他

(1)

(2)

1

3

2

104

4

16

16

16

28

5

#### 4. 受講申請手続

##### (1) 申請期間

28 7 21

28 8 26

##### (2) 提出の方法

8

9

16

##### (3) 提出書類

-1-1, 1-2

様式

様式-2-1, 2-2

2

3

3.0cm×

2.5cm

1

1

(様式-3)

##### (4) 提出先

790-8577

3

5. 個人情報の取扱い

6. 受講期間中の宿泊施設

2,400

1 7

7. その他

(1)

CPD

27

CPD84

CPD84

CPDS94

(2)

8. 問い合わせ先

790-8577

3

Tel: 089-927-9021

Fax:089-927-8820

E-mail: kensien@stu.ehime-u.ac.jp

<http://cdmir.jp/>

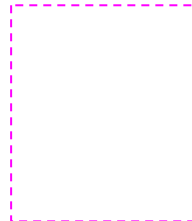
(様式-1-1)

【行政職員等の施設の管理者の立場での経験用】

※

平成 28 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 受講申請書

フリガナ 氏 名		
生年月日	昭和 年 月 日 (満 歳)	
現住所	〒 - 県 TEL - - 携帯 TEL - - E-mail	
勤務先		
勤務先住所	〒 - 県 TEL - -	
宿泊施設の利用	学内の宿泊施設を利用 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	
最終学歴		
職 歴		
保 有 資 格		







(様式-2-1)

【請負業務または調査設計等に従事した経験用】

※

平成 28 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 受講申請書

フリガナ 氏 名		
生年月日	昭和 年 月 日 (満 歳)	
現住所	〒 - 県 TEL - - 携帯 TEL - - E-mail	
勤務先		
勤務先住所	〒 - 県 TEL - -	
宿泊施設の利用	学内の宿泊施設を利用 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	
最終学歴		
職 歴		
保 有 資 格		





(様式-3)

※

平成 28 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座 志望理由書

申請者名

志望理由

(様式-1-1) (記入例)

【行政職員等の施設の管理者の立場での経験用】

※

平成 28 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 受講申請書

フリガナ 氏名	エヒメ タロウ 愛媛 太郎	
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (満〇〇歳)	
現住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 TEL 000-000-0000 携帯 TEL 000-0000-0000 E-mail 〇〇〇〇@〇〇〇〇	
勤務先	愛媛県〇〇事務所	
勤務先住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町 TEL 000-000-0000	
最終学歴	昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学工学部土木工学科 卒業
職歴	昭和〇〇年〇〇月	愛媛県土木部〇〇課 採用
	昭和〇〇年〇〇月	愛媛県〇〇事務所〇〇課
	平成〇〇年〇〇月	愛媛県県土整備部〇〇課 主任
	平成〇〇年〇〇月	愛媛県県土整備部〇〇課 課長補佐
	平成〇〇年〇〇月	愛媛県〇〇事務所長 (現職)
保有資格	(例) 技術士	登録年月日 年 月 日 登録番号 No.
	(例) 2級土木施工管理技士	

(様式-1-2)

【行政職員等の施設の管理者の立場での経験用】

※

氏名 愛媛 太郎

実務経歴 (社会基盤の維持業務の経験を記入)					
所属	部課名・役職	関係実務	勤務期間		備考 ※
愛媛県〇〇事務所	主任 (管理担当)	道路管理	H00.00~H00.00	1年6ヶ月	
愛媛県〇〇事務所	主任 (管理担当)	のり面工事監督官	H00.00~H00.00	2年	
愛媛県〇〇事務所	課長 (設計・管理担当)	トンネル工事設計	H00.00~H00.00	2年	
愛媛県〇〇事務所	所長 (管理業務)	土木事業一般管理	H00.00~H00.00	2年	
			↑		
			↓		
			計 7 年 6 ヶ月		
上記の通り相違ないことを証明する。					
平成 年 月 日 申請者 印					
上記の者の受講を推薦する。					
平成 年 月 日 所属所長 印					

注1: ※印のある枠内には何も記入しないで下さい。

注2: 現在の所属機関での実務経歴について証明をもらってください。現在の所属機関以外での実務経歴については、別紙(様式自由、申請者本人の署名・捺印)を作成し提出してください。

(様式-2-1) (記入例)

【請負業務または調査設計等に従事した経験用】

※

平成 28 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 受講申請書

フリガナ 氏名	エヒメ タロウ 愛媛 太郎	
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (満〇〇歳)	
現住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 TEL 000-000-0000 携帯 TEL 000-0000-0000 E-mail 〇〇〇〇@〇〇〇〇	
勤務先	株式会社〇〇建設	
勤務先住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町 TEL 000-000-0000	
最終学歴	昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学工学部土木工学科 卒業
職歴	昭和〇〇年〇〇月	株式会社〇〇建設 採用
	平成〇〇年〇〇月	株式会社〇〇建設 〇〇課
	平成〇〇年〇〇月	株式会社〇〇建設 〇〇課 課長
	平成〇〇年〇〇月	株式会社〇〇建設 〇〇支店長
	平成〇〇年〇〇月	株式会社〇〇建設 〇〇部 部長 (現職)
保有資格	(例) 技術士	登録年月日 年 月 日 登録番号 No.
	(例) 2級土木施工管理技師	

(様式-2-2)

【請負業務または調査設計等に従事した経験用】

※

氏名 愛媛 太郎

実務経歴（社会基盤の維持業務の経験を記入）

業務名	受注者名 (請負業務の場合)	関係実務	発注者名	勤務期間	備考 ※	
平成○年度 ○○ 道路○○舗装業務 平成○年度 ○○ 道路○○のり面施 工業務  昭和△△年～平成○年まで株 式会社××にて維持施工管理 に従事。詳細は別紙に記載す る。	株式会社○○建 設  株式会社○○建 設	塗装工事  施工管理	愛媛県○○事務 所  愛媛県○○事務 所	H00.00～H00.00  H00.00～H00.00  計 2 年 5 ヶ月	9ヶ月  1年8ヶ 月	

上記の通り相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

申請者

印

上記の者の受講を推薦する。

平成 年 月 日

所属所長

印

注1：※印のある枠内には何も記入しないで下さい。

注2：現在の所属機関での実務経歴について証明をもらってください。現在の所属機関以外での実務経歴については、別紙（様式自由、申請者本人の署名・捺印）を作成し提出してください。